

---

2020年度「未来の教室」



# “創る学び”の個別最適化の挑戦

株式会社SPACE 福本理恵



**SPACE**

**Gakken**

---

---

子どもの姿を“見える化”することで  
多様なゴールの  
個別最適化を叶えていく

---

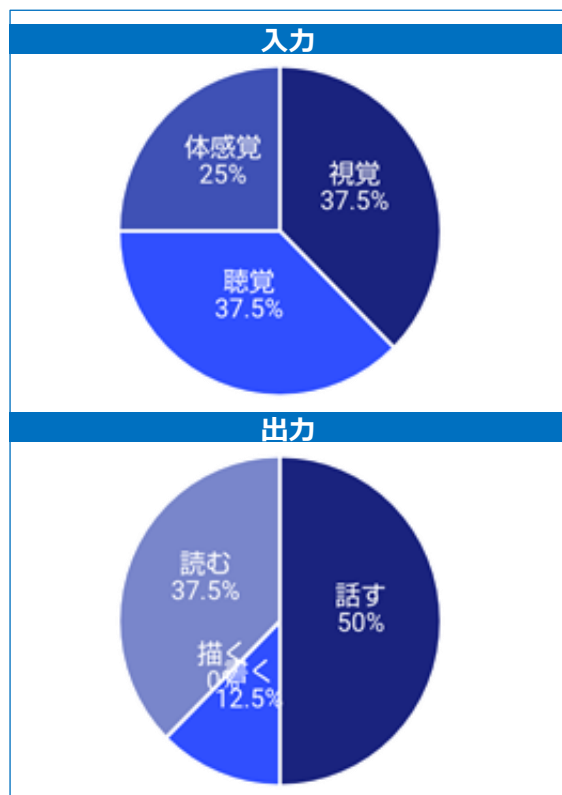


認知特性に合った学習スタイルとは？

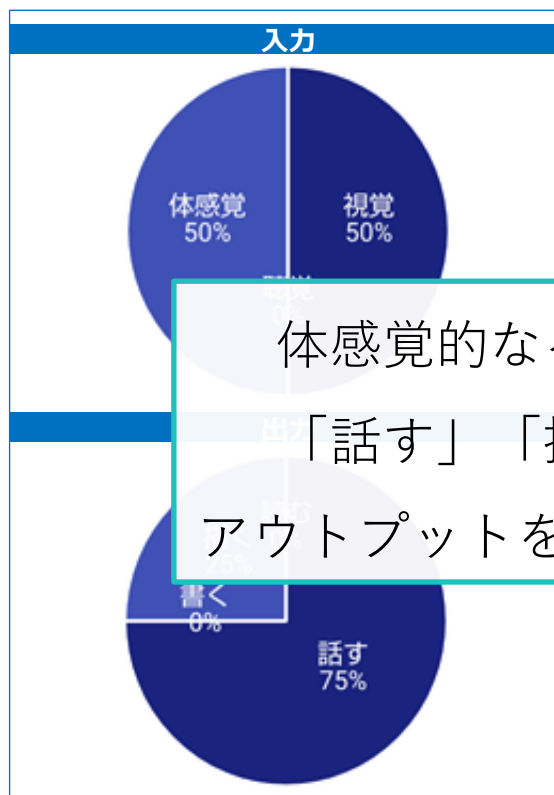
---

# 対象生徒ごとの認知特性の傾向

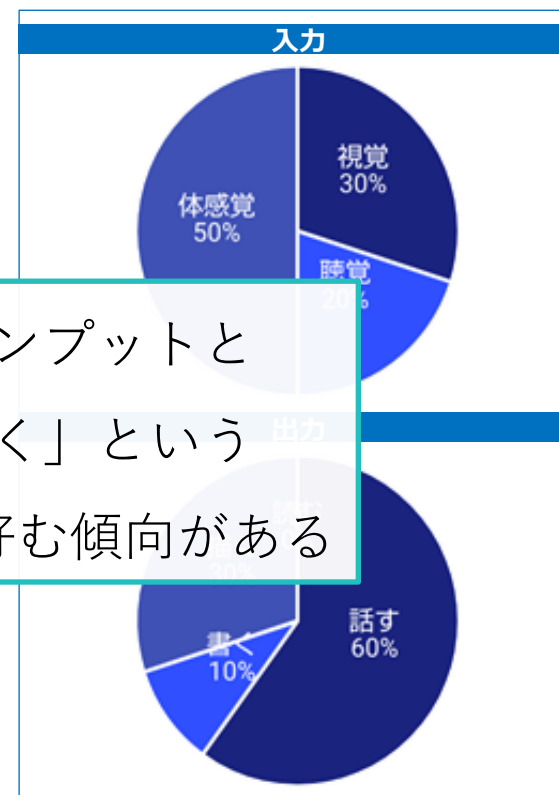
## 登校



## 不登校傾向



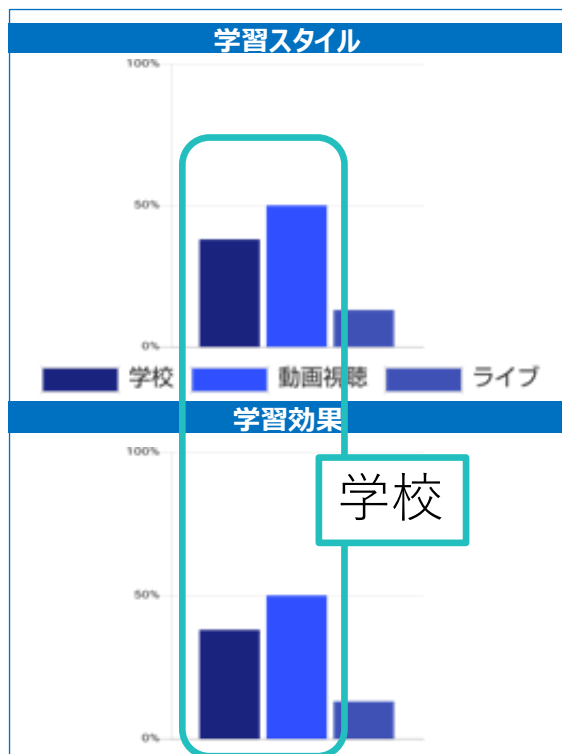
## アクティブな不登校



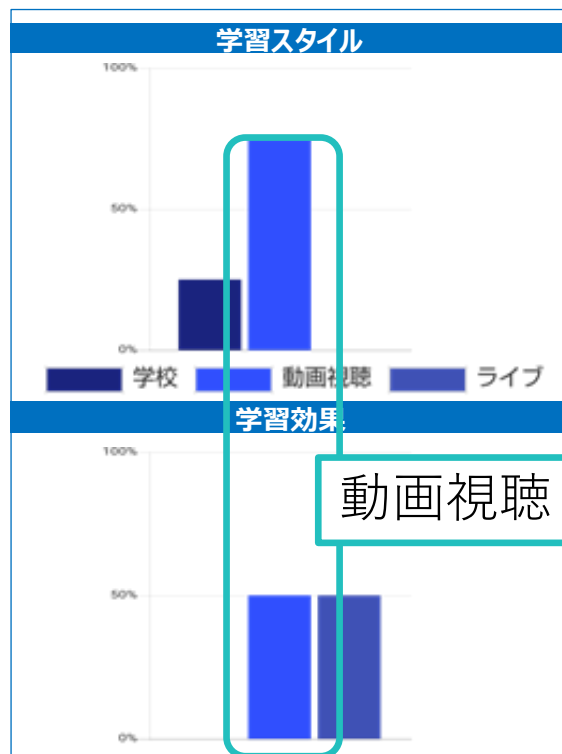
体感的なインプットと「話す」「描く」というアウトプットを好む傾向がある

# 学習スタイルと学習効果の傾向

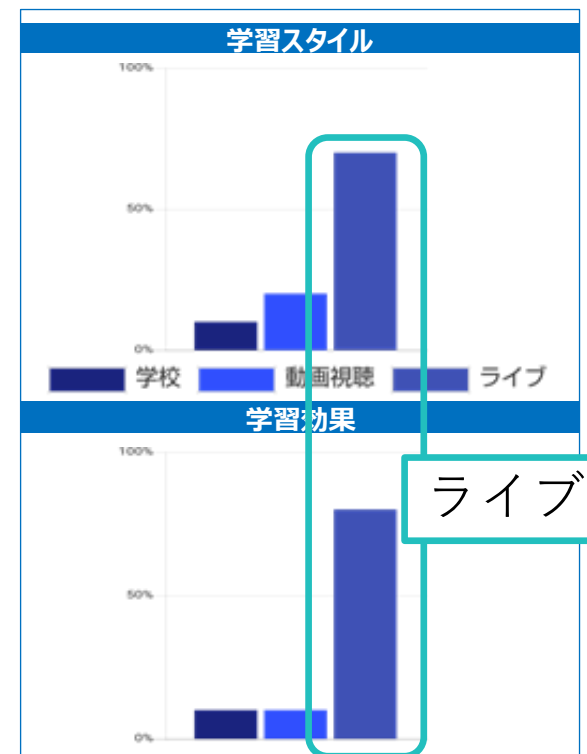
## 登校



## 不登校傾向

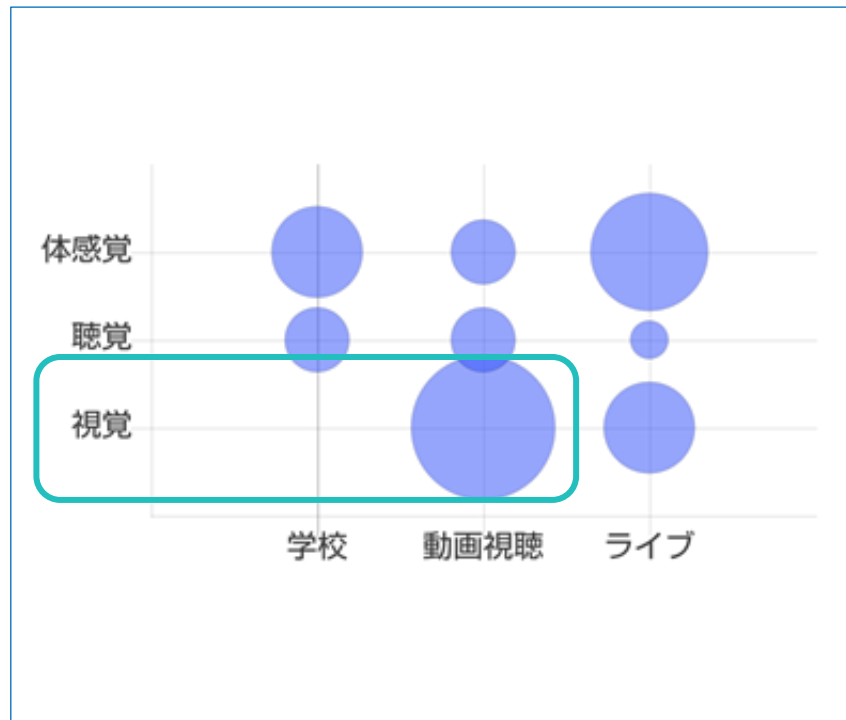


## アクティブな不登校

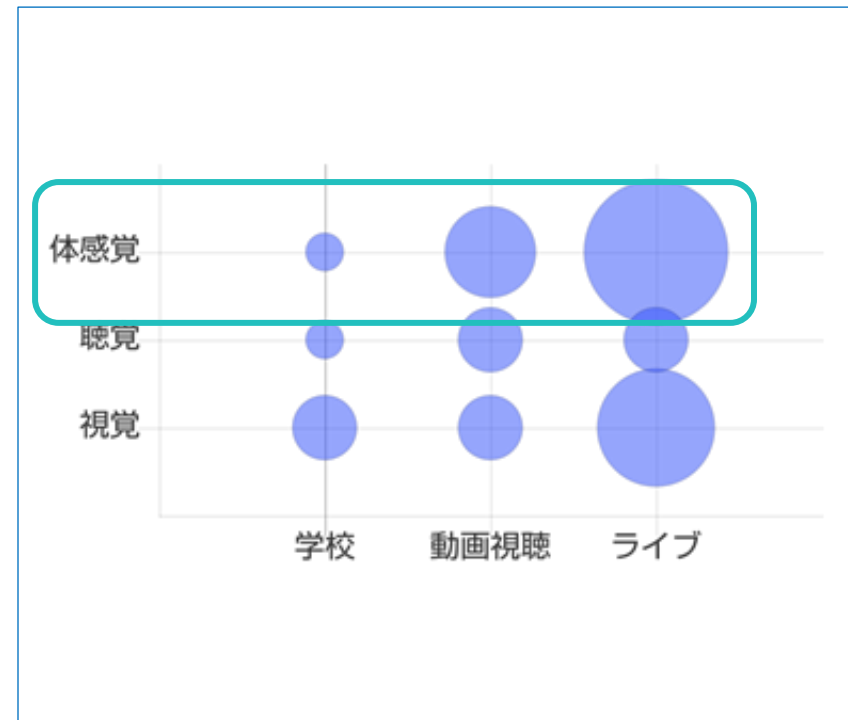


# 学習スタイル・学習効果との関連性

## 認知特性と学習スタイル



## 認知特性と学習効果

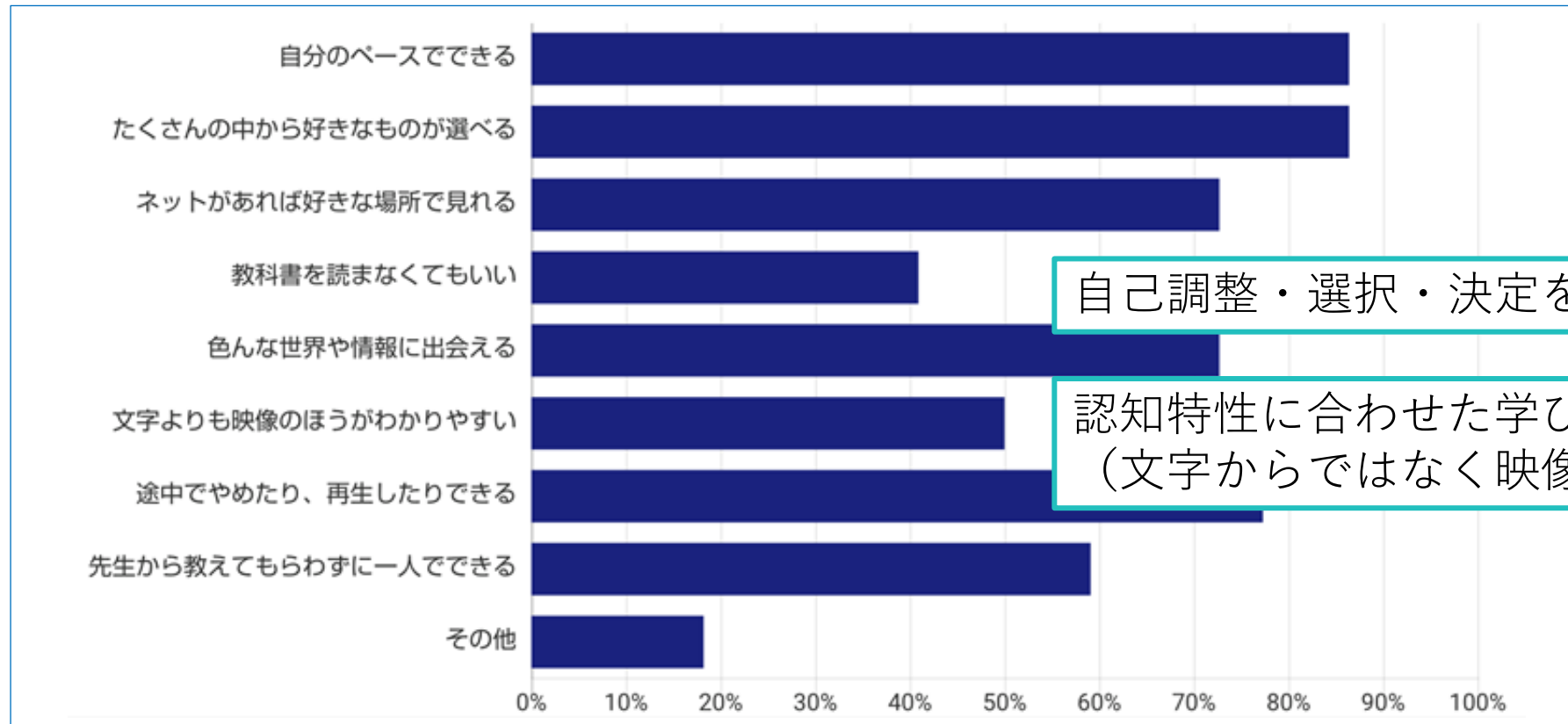




探究で子どもがオーナーシップを持つには？

---

# 動画視聴のメリット

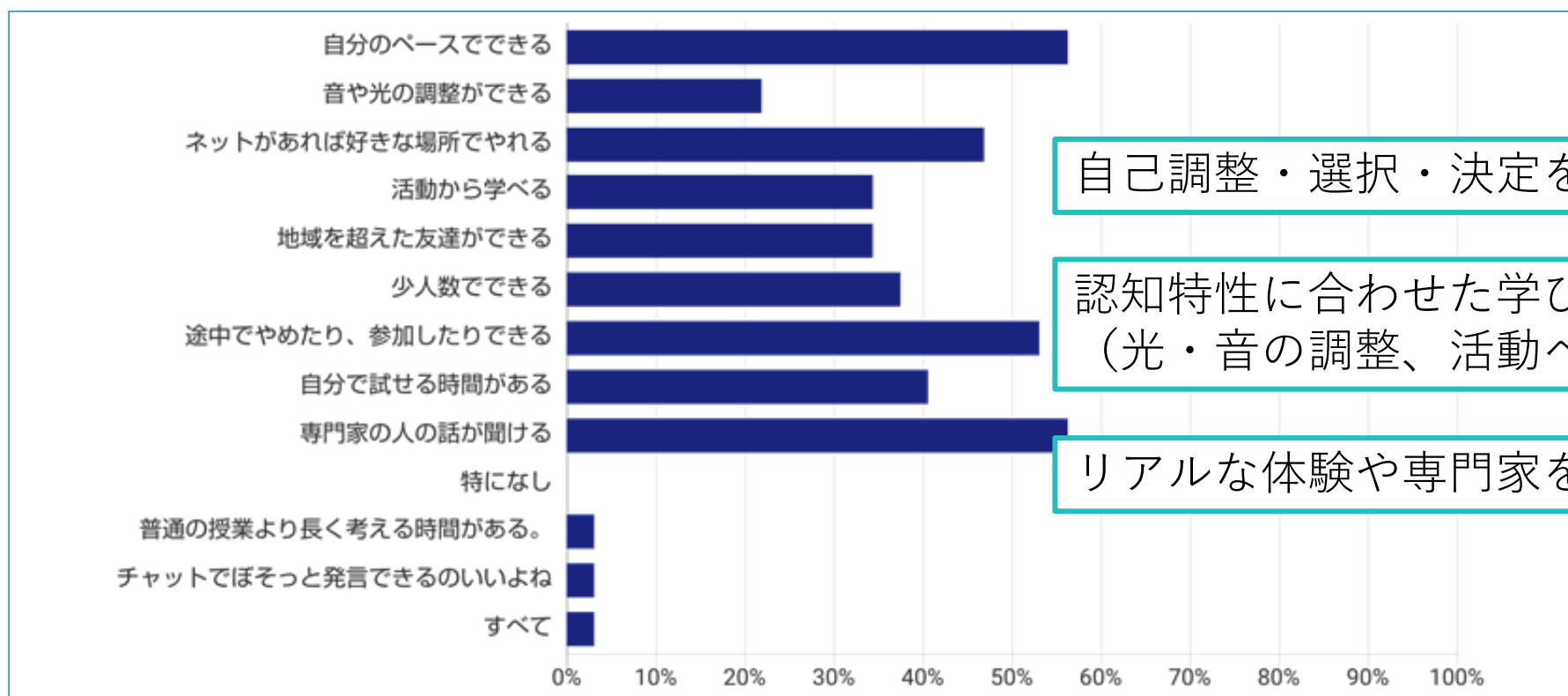


自己調整・選択・決定を希求

認知特性に合わせた学びの利点  
(文字からではなく映像から)



# ライブ授業のメリット



自己調整・選択・決定を希求

認知特性に合わせた学びの利点  
(光・音の調整、活動ベース)

リアルな体験や専門家を希求



特性の把握とマッチングは必要か？



---

# 自分の「学びのクセ」を知る

## 子ども本人

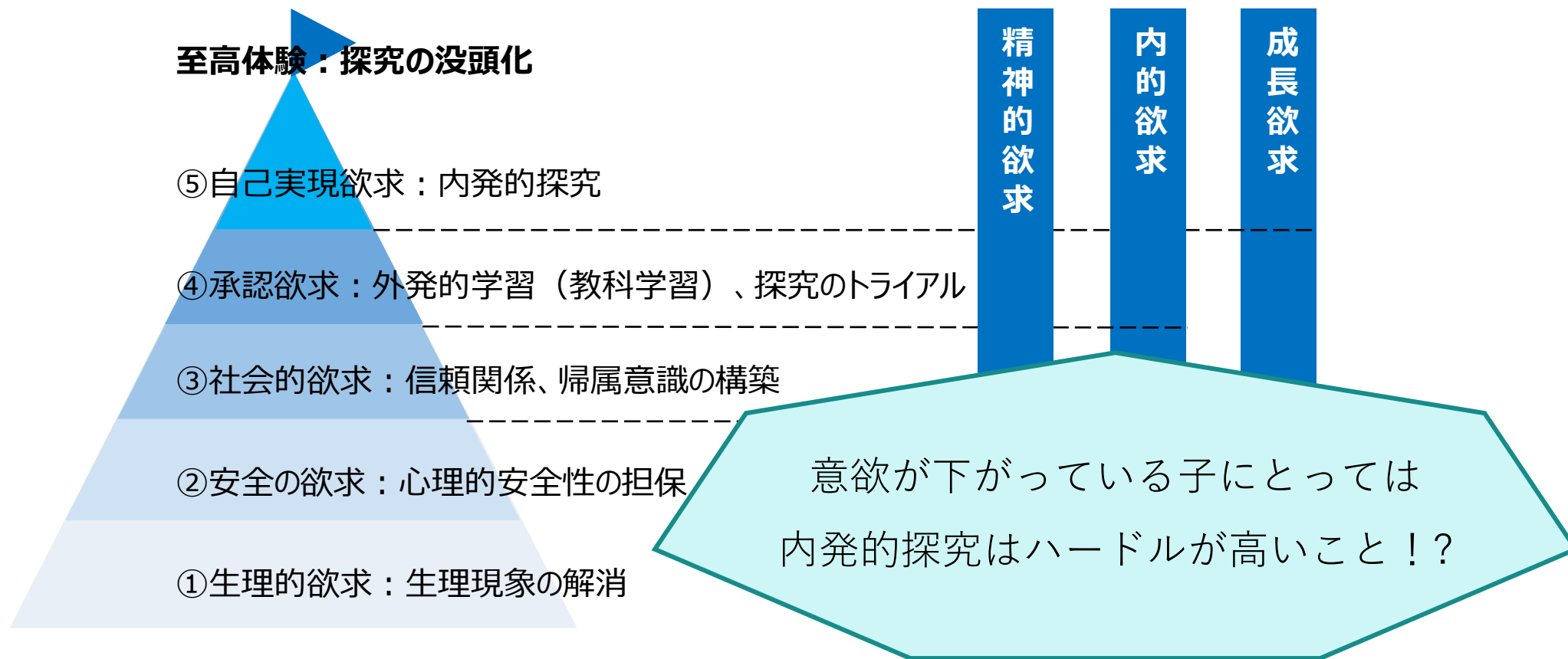
自分自身の認知特性や思考スタイルの傾向、興味関心や意欲の変遷を知ること、自分にフィットする学び方を選び、**学習環境を作っていく主体者**になる

## 教員や保護者など

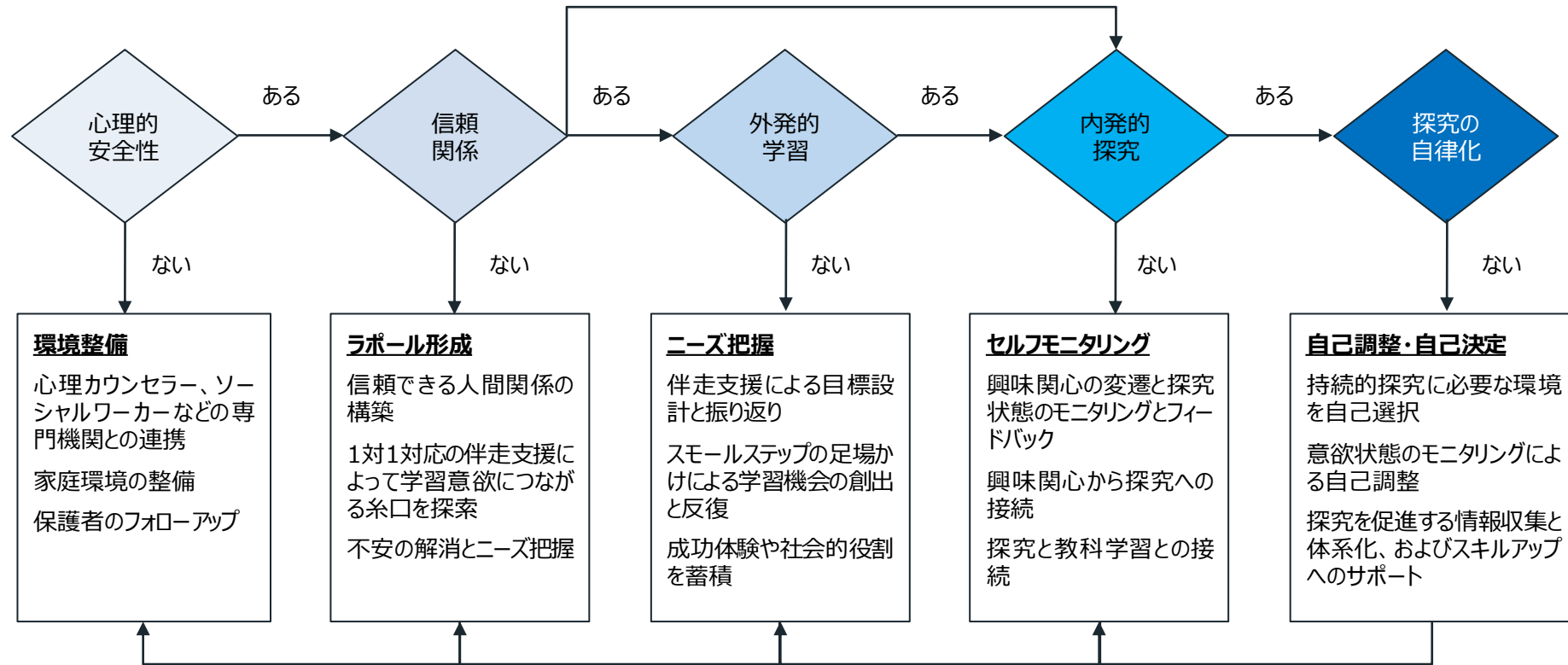
子どもの認知特性や思考スタイルの傾向、興味関心や意欲の変遷を知ること、その子どもにフィットする**多様な学び方を受容し、多様な観点から評価**できる

---

# 探究における段階的な学びのレディネス



# 自律的な探究のための段階的サポート

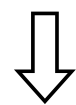


---

特性と環境との”マッピング”

+

子ども”オーナーシップ”



多様なゴールの個別最適な学び

---